

2014 年度 大阪市立大学医学部 英語

解答方式	時間	大問数	難易度
記述式	100分	4問	標準

■設問別分析

大問	区分	内容	難易度
1	長文読解	下線部和訳、空所補充等	標準
2	長文読解	下線部和訳、語句整序、空所補充	標準
3	英作文	下線部英訳	標準
4	長文読解	空所補充	標準

■ポイント解説

大問 1

比較的読みやすい長文が和訳問題や空所補充などの形式で出題される。

2014 年度の和訳部分を紹介する。

The fact that our attention is engaged with all this newness has a subtle effect on how much time we think has passed.

The fact の後ろの that は同格の that である。

<that our attention is engaged with all this newness> を fact の説明にあてると、「このような全ての真新しさに私たちの注意が引きつけられているという事実」となる。

これが、has a subtle effect on how much time we think has passed. の主語であるので、

「このような全ての真新しさに私たちの注意が引きつけられているという事実が、どれくらい時間が過ぎたと思うかに微妙な影響を及ぼすのである。」

大問 2

略

大問3 英作文

下線部英訳として出題される。

難しい日本語を、自分で英語にできるレベルの簡単な日本語に言い換えてやる必要があるが、基本的な表現が問われることも多いので、確実に得点したい。

痛みは目で見ることもし手で触ることもできないからである。

⇒You can neither see nor touch pain.

大問4 長文読解

空所補充問題のみが出題される。

選択肢には様々な品詞が含まれているので、まずは品詞から攻めるとよい。